1952年5月30日第3種郵便物認可

しんぶん赤旗

2007年10月8日 月曜日
日刊第20430号

発行所　日本共産党中央委員会
東京都渋谷区千駄ヶ谷４の26の７
〒151-8586　電話　03(3403)6111

定価(税込み)
日刊月2900円(郵送は別途送料1380円)1部100円
日曜版月800円(同送料234円)1部200円
振替　00180-6-194897

ファクス　中央委員会　03(5474)8358
　　　　　赤旗編集局　03(3350)1904

日本共産党のホームページ
http://www.jcp.or.jp/

©日本共産党中央委員会2007年

経団連は法人減税求めるが…

日本の企業負担 仏独の7〜8割

税・社会保険料

日本の税と社会保険料の企業負担は、依然としてフランスやドイツと比べ軽いことが、政府税制調査会（首相の諮問機関）に提出された資料で分かりました。

政府資料で判明

同資料は、法人所得課税と社会保険料について法人がどれだけ負担しているかを業種別に国際比較したもの。それによると、日本の企業負担（二〇〇五年度）は、自動車製造業ではフランスの73％、ドイツの82％、エレクトロニクス製造業ではフランスの68％、ドイツの87％でした。特に、日本は社会保険料の企業負担が軽いことが特徴です。

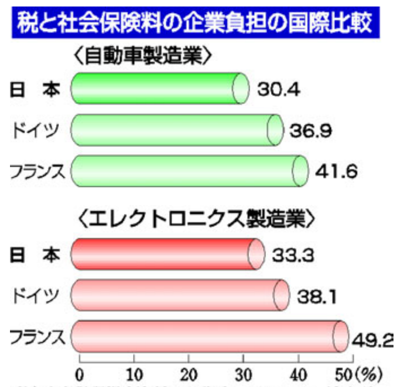
これとは別に、経済産業省が来年度税制「改正」に関連してまとめた国際比較でも、日本の税と社会保険料の企業負担（〇四年度）は、対国内総生産（GDP）比で8・0％で、スウェーデンの14・6％、フランスの13・9％、ドイツの8・4％と比べ低い水準です。

日本経団連（会長・御手洗冨士夫キヤノン会長）は、地方税も含めた法人実効税率を現行の約40％から30％に引き下げることをはじめ企業の負担をいっそう軽くすることを求めています。その財源として、消費税の増税を提言しています。しかし、政府資料でも日本の企業負担は低い水準であり、空前の利益をあげる大企業にこそ応分の負担を求めることが課題となっています。

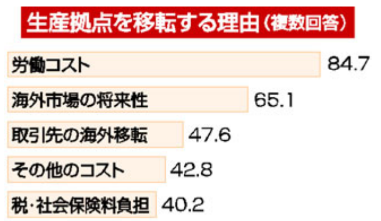
「減税しても帰国せず」7割

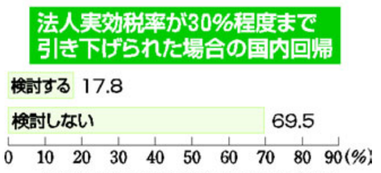
海外進出企業

経済産業省の委託調査「公的負担と企業行動に関するアンケート調査」によると、生産拠点の海外移転を計画している企業に理由（複数回答）を聞いたところ、「労働コスト」が84・7％と最も多く、「税負担・社会保障負担」は五番目でした。〝企業に負担を求めると海外に逃げる〟という宣伝に根拠がないことを裏付けています。一方、海外に進出している企業に、仮に法人実効税率が30％程度まで引き下げられた場合、「国内回帰を検討するか」と聞いたところ、「検討しない」が七割にのぼりました。



注）政府税調提出資料から作成。グラフは、法人所得課税負担および社会保障負担の税引前当期利益と社会保障負担をあわせた額に対する比率





出典）経済産業省の「公的負担と企業行動に関するアンケート調査」から作成

企業献金・政党助成金廃止を

「政治とカネ」問題の温床

TVで小池議員

日本共産党の小池晃政策委員長は七日、テレビ朝日系「サンデープロジェクト」で各党代表と討論しました。（2面に関連記事）

政治とカネをめぐって、福田康夫首相に領収書のあて名書き換え、公共事業受注企業からの献金など疑惑が指摘されている問題で小池氏は、「特に国の公共事業をしている企業からの献金というのは、いわば（税金の）キックバック（還流）です」と指摘。「企業から献金を受けて減税するとか、献金を受けて公共事業をまわすとか、税金を還流させるわけですから、お金を返したからということでは済まない」と批判しました。

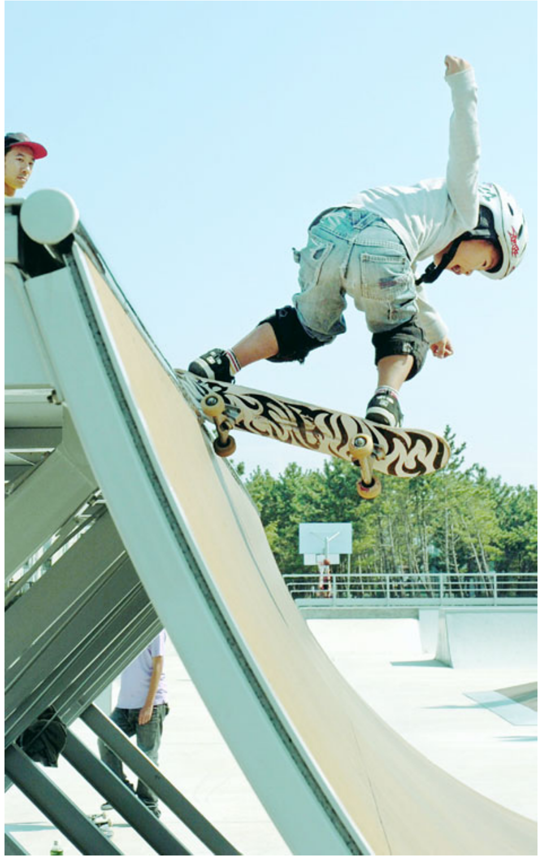
石原伸晃自民党前政調会長が「献金をもらうとき補助金をもらっているかと聞くことはない」などとのべたのに対し、小池氏は「わからないのであれば、企業・団体献金を禁止すること」だと批判しました。

石原氏が「そういうなら『赤旗』の収入を誰にいくら払ってもらっているのか、明らかにすることが必要だ」など筋違いの攻撃をしたのに対し、小池氏は「全然別の話だ。事業活動と企業献金を一緒にしないでほしい。読者名簿を明らかにせよというのは思想・信条の自由に対する挑戦だ」と厳しく批判しました。

また、二〇〇三年に民主党と合併するための自由党解散にあたり、改革国民会議なる団体に七億四千五百万円の資金と五億六千万円の政党助成金を引き継いだままになっている問題で、小池氏は「一般的な助成金は、その団体が消滅すれば返すし、一年で使わなければ返す。ところが政党助成金だけは出したら出しっぱなしで、だからこういうことが起こる」と指摘。同時に、助成金を受けている自民、公明、民主など各党が使い残しを積み立てている事実を告発しました。

小池氏は民主党に対してきちんと説明するよう求めたうえ、「こういう構造の温床にあるのは企業・団体献金と政党助成金であり、これらを廃止すべきだ」と主張しました。

工業団地でスケボー



千葉県市川市の工業団地の一角で、約三十人がスケートボードに汗を流します。九月に開園した塩浜第2公園スケートパーク（約千平方㍍）です。（写真）

基本を身に付けるのに欠かせないU字形のミニランプをはじめ、十一のセクションで楽しめるのが特徴です。東京都大田区から仲間と来た渡辺勝登志さん（三八）は、「多くのアイテムがあって楽しめます。マナーを守り安全に遊べるのがいいところです」と五歳の息子の手をとっての練習に熱が入ります。

施設はスケートボード愛好家の要望で実現したもの。日本共産党の市議団は議会質問で取り上げ、新設に賛成しました。

新しい政治を求めて

参院選で国民は、自民・公明政権のすすめる政治にノーの審判をくだしました。それは、生産の現場、暮らしの現場からの告発でもありました。新しい政治を求める動きは、都市、地方を問わず、うねりになろうとしています。シリーズで追います。

農民が上げた〝のろし〟

福岡・柳川市

「百姓を見殺すのか」。ムシロ旗がたちました。福岡県柳川市では、農民千三百人が参加した「総決起大会」が九月三十日に開かれました。自民・公明党内閣が戦後農政「改革」の柱と位置づけた「品目横断的経営安定対策」（品目横断対策）。ところが実施にうつされると対象作物となっている麦の収入が、豊作となっても大幅に減ることが明らかになったのです。

参加した〝かあちゃん衆〟も見直しを求めてこぶしをつきあげ、壇上からは「農民のナマの声を政治家やマスコミの人たちに聞いてもらい、県や国会に届けてほしい」と訴えました。

> ☞**品目横断的経営安定対策**　米、麦、大豆、でんぷん原料バレイショ、テンサイにあった価格保障の助成金を廃止し、これらの作物をつくる一定規模の農家や組織にたいし〝品目横断的〟に合算して、交付金を国が支払う制度です。作付面積でみると麦や大豆などはほぼ制度に乗る形になっていますが、米は四分の一程度しか加入できていません。対象になった場合でも減収になり続けられないことが各地で問題となっています。

自民支援団体

大会は、福岡県農政連柳川支部とJA柳川農協が呼びかけたものです。「農政連」は選挙ともなれば自民党の選挙支援団体化する農協組織。それが、政府・与党がすすめる品目横断対策に真っ向から異議をとなえることになったのです。

その事情について、大会の準備で中心となった同農政連筆頭副支部長の新谷一廣さん（五三）＝柳川農協理事＝は、「七月の農協総代会では『こんなときだから目に見える活動せにゃいかん』と意見が出た。従来のように自民党や全中（全国農協中央会）に請願をちょっとやるだけでは百姓は納得しない、となった」と振りかえります。

大会スローガンは新谷さん発案の「今、農業者の声を国政・農水省へ」と決まりました。全国に〝百姓ののろし〟を上げる思いです。

柳川市をふくむ筑後平野は今年の麦は大豊作。しかし、品目横断対策では、過去の生産実績にもとづいて算出される定額制が交付金の七割になります。いくら良品質を多く収穫しても、乾燥・調整代や倉庫代がかさみます。農家手取り額は逆に二割以上も落ち込みました。「豊作なのになぜだ」と農協に問い合わせが続いたといいます。

筑後平野は、麦のあとに稲を作る二毛作地帯です。市内有数の大規模農家の後継者となる森永貴大さん（三四）は、稲刈りに精を出します。米価暴落も気がかりです。「機械など設備投資の負担がある。続けられない政策でなく、展望がもてる政策を示してほしい」と語り大型コンバインに乗り込みました。

「展望がもてる農政がほしい」とコンバインに乗り込む森永さん＝福岡県柳川市

議会も意見書

「撤廃」を含む品目横断対策の見直しを求める意見書を可決する議会も出ています。筑後平野にある筑前町は、自民系無所属議員が提案し全会一致で可決しました。意見書の要望事項のトップには「農産物の価格保障を基本とした対策を実現すること」という、日本共産党が主張する考えが示されています。「農家の議員が多く実態がわかっているのか、異論がなかった」（日本共産党の河内直子町議）といいます。

規模が大きく品目横断の対象作物も多い北海道でも、見直しを求める意見書が道議会で全会一致可決されました。小麦の交付金は従来の農家手取り実感と大きな差があることを指摘、「農業者の生産意欲が減退しかねない」と見直しを求めています。

食料自給率低下と農家を廃業においこむ自公農政の見直しを求める動きが激しくなってきました。

（中沢睦夫）

（8面に関連記事）

消費税増税とめよう

なくす会総会 各地の運動交流

消費税をなくす全国の会の第十八回総会が七日、東京都内で開かれました。都道府県の会や草の根の会の代表百二十六人が参加、消費税増税計画を阻止するための運動を交流しました。

福田康夫首相が先の所信表明演説で、増税路線を明確にし、財界も増税を提言するなど増税計画が鮮明になってきています。

討論では岩手・北上の会の代表が、寒冷地での有効な宣伝として月二回、国道4号に「消費税増税反対」の大型パネルを掲げて、通勤する労働者の車に訴えていると報告。「頑張れ」と声をかける人が増えていると紹介しました。増税反対の署名と入会署名をすすめ二百三十人の会員を倍にすることをめざしているとのべました。

岡山市の会の代表は、労働組合員が法被を着て商店街でハンドマイクで訴える「消費税なくし隊」を組織した経験を紹介。労働者の生活への消費税の影響の大きなことを訴えて、署名を広げる決意を表明しました。

杵渕智子事務局長は、政府・財界の福祉財源論のまやかしを打ち破り、消費税増税反対の声を大きく、と訴えました。増税計画を阻止し、国民の立場にたった民主的税制を行う新しい政治に変えるために解散・総選挙に追い込もうと呼びかけました。

日本共産党の大門実紀史参院議員が消費税増税計画をやめさせるためにともにたたかう決意をのべました。総会では世話人、常任世話人とともに、梅村早江子新事務局長を選出しました。

潮流

体育の日。祝日法には「スポーツにしたしみ、健康な心身をつちかう」とあります。連休中、運動会をはじめ子どもと一緒に歓声をあげた人も多かったのでは▼スポーツや遊びは子どもたちの成長に大きな役割を果たすといいます。体を動かす＝身体的・運動的な発達、仲良く遊ぶ＝社会性の発達、わがままを我慢する＝精神安定、みずから進んで行う＝自発性の獲得、遊びを創造する＝知的能力の開発（柳井宗一郎著、『理想のからだをデザインする』）▼学校体育もほんらい、こうした効用を実感できる場であるはずです。その中学校の現場で武道とダンスを必修させる案を、文部科学相の諮問機関・中央教育審議会の専門部会がまとめました▼しかし、彼らの狙いは別にあるのでしょう。安倍政権によって改悪された教育基本法。「伝統と文化の尊重」がもりこまれ、それが専門部会の「わが国固有の伝統と文化に、より一層触れることができるよう」との方針と軌を一にするからです▼では、現代における武道の目的とは。一例として日本武道協議会が定めた武道憲章にこうあります。「武技による心身の鍛錬を通じて人格を磨き、識見を高め、有為の人物を育成する」▼「心技体」を旨とする武道の精神は大切でしょう。ただし、実際はどうか。大相撲は陰惨な暴力死亡事件で窮地に立ち、柔道や剣道でもいじめや体罰が後を絶ちません。伝統を大切にしつつも、ほかのスポーツと差別せず、指導の中身を十分に吟味する必要があります。

ニュースと読み物

テロ特措法 そもそも考① 3
増える生活苦による自己破産 日弁連調査 非正規社員も増加 15
ゆうｐｒｅｓｓ 派遣だって人間だ 5
無料医療制度充実へ 英の与野党、競い合い 6
電動車いすサッカー 吉沢祐輔選手に聞く 10
自立の村づくり 奈良県山添村の挑戦 13
「大東亜戦争」の真実 満蒙開拓団の悲劇 14
月曜インタビュー 俳優 中村 梅之助さん 9

天気

のち
一時・時々
気温 上：最高 下：最低
（日本気象協会・17時）

サハリン付近の低気圧から延びる前線が日本付近を通過します。全国的に雨が降り、日本海側の各地や西日本では雷を伴い激しく降る所も。落雷、突風、土砂災害などに注意。

	昼	夕	夜	降水%	気温	9(火)	10(水)	11(木)
札幌	☂☁	☀	☁	70	17 13	☁☀	☁☀	☁☀
釧路	☂	☁☀	☆	80	19 13	☀☁	☀☁	☁☀
青森	☂	☁	☆	90	22 13	☁☀	☁☀	☁
盛岡	☂	☂☁	☆	90	21 15	☀☁	☁	☁
仙台	☂☁	☂☁	☁☆	70	23 16	☀☁	☁☂	☁☂
秋田	☂	☂☁	☁	100	22 17	☁☀	☁	☁
山形	☂	☂☁	☁☆	80	24 14	☁☀	☁☂	☁☂
福島	☂☁	☂☁	☁☆	70	25 16	☀☁	☁☂	☁☂
新潟	☂	☂	☁	80	24 18	☁	☁☂	☁☂
富山	☂	☂	☂☁	80	26 22	☁	☁☂	☁☂
金沢	☂	☂	☁	90	25 23	☁	☁☂	☁☂
福井	☂	☂	☁	90	26 21	☁	☁☂	☁☂
水戸	☂☁	☂	☂☁	70	25 15	☁	☁☂	☁☂
宇都宮	☂☁	☂	☁☆	70	22 15	☁☀	☁☂	☁☂
前橋	☂☁	☂	☁☆	60	21 15	☁☀	☁☂	☁☂
さいたま	☂☁	☂	☁☆	60	25 16	☁	☁☂	☁☂
千葉	☂☁	☂	☂☁	70	25 19	☁	☁☂	☁☂
東京	☂☁	☂	☁	60	26 20	☁	☁☂	☁☂
横浜	☂☁	☂	☂☁	70	25 19	☁	☁☂	☁☂
甲府	☂	☂	☁☆	70	26 17	☁☀	☁☂	☁☂
長野	☂☁	☂	☁	80	25 16	☁	☁☂	☁☂
静岡	☂	☂	☆	80	26 18	☁☀	☁☂	☁☂
名古屋	☂	☂☁	☆	80	25 19	☁☀	☁☂	☁☂
岐阜	☂	☂☁	☆	90	25 20	☁☀	☁☂	☁☂
津	☂	☂☁	☆	90	25 20	☁☀	☁☂	☁☂
大津	☂	☂	☁	80	27 20	☁	☁☂	☁☂
京都	☂	☂	☁	90	28 22	☁	☁☂	☁☂
大阪	☂	☂	☁	80	28 22	☁	☁☂	☁☂
奈良	☂	☂	☁	80	28 20	☁	☁☂	☁☂
和歌山	☂	☂	☁	80	28 23	☁	☁☂	☁☂
神戸	☂	☂	☁	70	27 22	☁	☁☂	☁☂
岡山	☂	☂☁	☁	60	27 22	☁	☁☂	☁☂
広島	☂	☁	☁	80	29 22	☁	☁☂	☁☂
鳥取	☂	☂	☂☁	90	26 22	☁☂	☁☂	☁☂
松江	☂	☂☁	☁	80	26 21	☁☂	☁☂	☁☂
山口	☂☁	☁	☁☆	80	27 23	☁☂	☁☂	☁
徳島	☂	☂☁	☁	80	29 22	☁☂	☁☂	☁☂
高松	☂	☂☁	☁	70	28 22	☁☂	☁☂	☁☂
松山	☂	☂☁	☁	80	28 22	☁☂	☁☂	☁☂
高知	☂	☂	☁	80	29 22	☁☂	☁☂	☁☂
福岡	☂☁	☁☂	☁	80	27 24	☁☂	☁☂	☁
佐賀	☂☁	☁☂	☁	80	29 24	☁☂	☁☂	☁
長崎	☁☂	☁	☁☆	60	28 25	☁☂	☁☂	☁
熊本	☂☁	☁☂	☁	90	30 24	☁☂	☁☂	☁
大分	☁☂	☁☂	☁	70	27 23	☁☂	☁☂	☁
宮崎	☂☁	☁☂	☁	50	30 22	☁	☁	☁
鹿児島	☂☁	☁☂	☁	70	28 25	☁	☁☂	☁
那覇	☂	☂	☂	50	31 28	☁	☀☁	☀☁